

平成 28 年度 事業報告書

【概 要】

超高齢社会を支える介護保険制度の創設から16年が経過し、平成27年度からは第6期の介護保険計画がスタートしました。介護サービスへの需要はますます増大し、その形態もより多様化し整備されてきました。2025年には団塊の世代が75歳以上となり、医療ニーズを併せ持つ高齢者の増大が見込まれ、「地域包括ケアシステム」の構築が重要課題となっています。国は、地域を主体とした介護社会の実現を目標としてきましたが、近年では、介護離職が社会問題化し、安倍首相が打ち出したアベノミクス「新3本の矢」の一つとして、介護施設の拡充や介護人材の育成を図り「介護離職ゼロ」を実現する方針が打ち出されました。

この流れに対応するために、在宅介護分野に注力し地域に密着した運営体制と、新たな施設整備に向けた事業計画の策定と、その実現が可能な組織体制が必要となりました。そのため、平成28年度は、企画調整官の職を設け、組織体制の強化を図るとともに、日野岐協苑の隣地にある用地を取得し事業拡大の基盤を築きました。

また、介護人材の確保が最重要の課題でありました。介護施設における事件・事故も社会問題化する中、いかに人材を確保し育てることに力を注ぎました。人材の育成及び幹部職員の意識改革を図るため、人材育成コンサルティングによる研修を進め、やりがいと誇りを持って働ける職場づくりを実現し、離職を防止し法人全体の活性化を行いました。

施設整備に関しては、「中期3か年ビジョン」に基づき、冷暖房改修の準備、特養の手摺り・温水便座洗浄機の整備等を行いました。

平成29年4月に本格的に実施される社会福祉法人制度改革を控え、①公益性・非営利性の徹底②公益財団法人等と同様のガバナンスの強化と透明性の確保③財務規律の確立と地域社会への貢献、が求められていますが、制度改革に柔軟に対応できる自立した経営と、地域公益事業及び地域福祉の向上に資するサービスが提供できるよう努めました。

1 本部事業

1 理事・監事会及び評議員会の開催

社会福祉法人制度改革のもと、定款変更をスムーズに行うとともに介護保険事業の経営の安定化・適正化及び地域福祉事業の円滑化を図るため、次のとおり、理事会・監事会・評議員会を開催しました。

(1) 理事会

第1回	期日	平成28年5月27日(金)
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 社会福祉法人岐協福社会事業報告について ・平成27年度 社会福祉法人岐協福社会決算報告について ・監査報告について ・社会福祉法人岐協福社会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人岐協福社会給与規程の一部改正について ・社会福祉法人岐協福社会安全衛生委員会の一部改正について ・在宅介護支援センター大洞岐協苑運営規程の一部改正について ・日野岐協苑短期生活介護運営規程の一部改正について ・地域密着型特定施設入居者生活介護日野岐協苑運営規程の一部改正について ・岐阜市地域包括支援センター東部指定介護予防支援事業所運営規程の一部改正について ・その他
第2回	期日	平成28年9月15日(木)
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・老人デイサービスセンター大洞岐協苑新規事業及び岐阜市地域包括支援センター東部新規受託事業の承認について ・平成28年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・社会福祉法人岐協福社会パートタイム職員の就業規則の一部改正について ・老人デイサービスセンター大洞岐協苑運営規程の一部改正について ・大洞岐協苑訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・地域密着型特定施設入居者生活介護日野岐協苑運営規程の一部改正について
第3回	期日	平成28年12月21日(水)

	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人岐協福社会定款の変更について ・ 平成 28 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・ 社会福祉法人岐協福社会パートタイム職員の就業規則の一部改正について ・ 社会福祉法人岐協福社会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 報告事項 介護ロボット（ベッド見守りシステム）の指名競争入札の結果について ・ その他
第 4 回	期日	平成 29 年 3 月 6 日（月）
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員選任・解任委員会運営細則について ・ 評議員選任・解任委員会委員の選任について ・ 次期評議員候補者の推薦について ・ 評議員選任・解任委員会の招集について ・ その他
第 5 回	期日	平成 29 年 3 月 24 日（金）
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・ 平成 29 年度 社会福祉法人岐協福社会事業計画案について ・ 平成 29 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支予算案について ・ その他

(2) 監事会

第 1 回	期日	平成 28 年 5 月 25 日（水）
	場所	大洞岐協苑 面談室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度 社会福祉法人岐協福社会事業報告について ・ 平成 27 年度 社会福祉法人岐協福社会決算報告について

(3) 評議員会

第1回	期日	平成28年5月27日(金)
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 社会福祉法人岐協福社会事業報告について ・平成27年度 社会福祉法人岐協福社会決算報告について ・監査報告について ・社会福祉法人岐協福社会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人岐協福社会給与規程の一部改正について ・社会福祉法人岐協福社会安全衛生委員会の一部改正について ・在宅介護支援センター大洞岐協苑運営規程の一部改正について ・日野岐協苑短期生活介護運営規程の一部改正について ・地域密着型特定施設入居者生活介護日野岐協苑運営規程の一部改正について ・岐阜市地域包括支援センター東部指定介護予防支援事業所運営規程の一部改正について ・その他
第2回	期日	平成28年9月15日(木)
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・老人デイサービスセンター大洞岐協苑新規事業及び岐阜市地域包括支援センター東部新規受託事業の承認について ・平成28年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・社会福祉法人岐協福社会パートタイム職員の就業規則の一部改正について ・老人デイサービスセンター大洞岐協苑運営規程の一部改正について ・大洞岐協苑訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・地域密着型特定施設入居者生活介護日野岐協苑運営規程の一部改正について
第3回	期日	平成28年12月21日(水)

	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人岐協福社会定款の変更について ・ 平成 28 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・ 社会福祉法人岐協福社会パートタイム職員の就業規則の一部改正について ・ 社会福祉法人岐協福社会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 報告事項 介護ロボット（ベッド見守りシステム）の指名競争入札の結果について ・ その他
第 4 回	期日	平成 29 年 3 月 24 日（金）
	場所	大洞岐協苑 地域交流室
	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支補正予算案について ・ 平成 29 年度 社会福祉法人岐協福社会事業計画案について ・ 平成 29 年度 社会福祉法人岐協福社会資金収支予算案について ・ その他

（４）評議員選任・解任委員会

社会福祉法人制度改革のもと新定款に基づき、評議員の選任・解任を行う「評議員選任解任委員会」を新たに組織し、次のとおり開催しました。

第 1 回	期日	平成 29 年 3 月 17 日（金）
	場所	大洞岐協苑 面談室
	議案	・ 社会福祉法人岐協福社会 次期評議員の選任について

（５）会議・委員会の開催

事業内容の適正化と事業所間の連携を更に向上させるため、次の会議を開催しました。

会議名称	開催回数	内 容
経営会議	毎 月 (12 回)	課長級以上の職員で構成し、事業運営について協議した。
事業所連絡会議	毎 月 (12 回)	各事業所の代表者で構成し、課題、懸案事項、苦情、事故の報告と対応策等を協議した。
全体職員会議	毎 月 (12 回)	全職員を対象に、当面の重要事項や課題等について伝達と指示を行った。
広報会議	毎 月 (12 回)	各事業所の委員で構成し、広報誌「ほほえみ」の編集、ホームページ・ブログの更新、PR活動等について協議した。
安全衛生委員会	毎 月 (12 回)	安全衛生委員・産業医で構成し、職員の健康確保と快適な職場環境づくり、労働災害事故・交通事故予防について協議した。
経営分科会	毎 月 (12 回)	経営会議が任命する職員により構成し、経営会議の指示により、特定の課題や計画の推進のため、調査及び研究を行った。

2 特別養護老人ホーム大洞岐協苑事業（定員80人）

介護保険指定 岐阜県指定 第2170100305号

概要

地域の皆様に信頼される施設として、意向を尊重したサービスの提供に努めました。心身ともに穏やかに、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう援助しました。また、入苑者のプライバシーを尊重し、生きがいを持って生活できるように個別のニーズの把握に努め、ニーズに即した処遇の充実を図るよう努めました。

入所に関しては、入所基準の明確化、入所決定過程の透明性・公平性の確保、入所の円滑な実施が求められ、第三者委員を含む入所検討委員会を開催し対応しました。

施設設備の充実を図る為、全トイレに温水便座洗浄機と新たに手摺りの導入を実施、利用者の清潔と安心・安楽の向上と介護者の負担軽減につながりました。

また、地域との協賛行事により入所者が地域の方々とふれ合う機会が増え、介護実習・中学生の職場体験・ボランティアの受け入れや中部学院大学学外授業・警察学校福祉体験の実施によって福祉施設として社会貢献ができました。

1 重点目標

- ①入所率89.8%（目標93%）欠員期間平均約4週間（目標3週間以内）という結果であり、来年度に課題を残す結果となりました。
- ②重度者ケアの知識と介護技術の向上の為に介護職員段位認定制度研修に派遣をし、アセッサー（認定者）が6名誕生しました。
- ③清潔で居心地の良いプライバシーに配慮した生活の為に温水洗浄便座を整備し、衛生面での整備を行いました。
- ④利用者懇談会・家族会・ボランティア感謝の集いを行いました。
- ⑤生き活きと働き続けることができる職場作りの為に、職員面談・ストレスチェックを行いました。

2 施設サービス計画

利用者・家族の意向を尊重しながら他職種での話し合い、管理的・画一的にならないよう利用者一人ひとりに合った計画を策定しました。また、変化に対してはカンファレンスの迅速化を図り適切なサービスを提供しました。利用者の主体性を損なうことなく、意思決定を側面から支援しました。

3 介護サービス

サービスの提供については、個別のサービス計画に基づき利用者の心身の状況に応じた適切なケアを提供しました。重度化に伴いケアの知識・技術の向上に努めました。

4 機能訓練

利用者が笑顔で生活できるよう、健康状態及び運動能力を把握し、機能及び健康の維持増進を図り、QOL（生活の質）の向上を目指し、多職種と連携して機能訓練を実施しました。重点目標として関節の拘縮予防及び下肢筋力の維持向上を図りました。

5 食事サービス

- ①適温で基本的な栄養所要量を満たした食事を提供しました。利用者の嗜好や季節の食材を生かした献立を作成するとともに、医師の発行する食事箋に基づいた治療食や嗜好による代替食など利用者の状況にあったものとししました。
- ②利用者の低栄養状態の予防・改善のため、管理栄養士は利用者の栄養アセスメントの結果に基づき他職種と連携して栄養ケア計画書を作成し、計画に沿った食事を提供しました。
- ③刻み食やソフト食により安全に食事の摂取を図るとともに、多職種との連携により食事形態・食事姿勢・介助方法などを検討し誤嚥の防止とできるだけ口からの食事摂取が維持できるように努めました。
- ④利用者満足度アップのため、新しいメニューの提案や2ヶ月に1回のバイキング昼食・週1回の選択メニュー・手作りおやつを提供しました。また嗜好調査を実施しニーズの把握に努めました。
- ⑤厨房職員のレベルアップのため研修参加の機会を確保し、衛生面の徹底・技術の向上を図り、作業工程の見直しと合理化を図りました。

6 健康管理

利用者一人ひとりの既往歴や現疾病の状況を十分に把握し、常に体調の変化に留意し、多職種との連携を密に必要な医療処置、病気の予防など健康管理に努めました。

服薬中の薬剤については看護職員が管理し、予薬介助にミスのないように十分に注意しました。

2月にインフルエンザの罹患者が10名ほどありましたが、協力医療機関との連携により、10日ほどで収束に至りました。

- ① 嘱託医の診察

内 科	週 2回	(火・金曜日)		
精神科	月 1回			
② 歯科医の診察	週 1回	(水曜日)		
③ 健康診断	年 1回			
④ 体重測定	毎 月			
⑤ 予防接種	インフルエンザ予防接種			
⑥ 職員の健康管理				
・ 定期健康診断	年	夜間勤務職員	2回、	その他の職員 1回
・ 定期検便	年	直接処遇職員	1回、	栄養士 毎月

7 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るため、次の会議を開催しました。

① 特養会議	月	1回
② 介護職員会議	月	1回
③ 行事委員会	月	1回
④ 給食委員会	月	1回
⑤ 口腔衛生委員会	月	1回
⑥ 介護力向上委員会	月	1回
⑦ ターミナル検討委員会	月	1回
⑧ 環境美化委員会	年	4回
⑨ 感染症対策委員会	年	4回
⑩ 事故防止委員会	年	4回
⑪ 利用者懇談会	年	3回
⑫ 家族会議	年	2回
⑬ 入所検討委員会	月	1回

8 研 修

介護職員等の資質の向上を図るため、苑内外研修に積極的に参加しました。

- (1) 苑内研修 新人研修、事故防止研修、感染予防研修等を実施し、苑内研修は年間予定の通り年 11 回実施しました。
- (2) 外部研修は各機関が実施する研修会に参加しました。
- (3) 介護職員等は自主研修に努めました。
- (4) 資格取得のための「介護福祉士勉強会」「介護支援専門員勉強会」を行いました。

9 非常災害対策

利用者の安全を図るため、別に定める防災等管理規程に従って、避難救出訓練を年2回実施しました。また、消防施設の保全及び整備点検に努めました。

10 建物施設管理

建物、施設等は、保守点検を定期的実施するほか、清潔な生活環境を整えるため清掃、消毒等を行いました。

特別養護老人ホ一ム利用者状況表

平成29年3月31日 現在

1. 定員 80 名 現入居者 70 名 (入院) 2 名

2. 性別 男性 11 名 女性 59 名

3. 年齢別

	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100～	計
男性	0	1	0	1	4	3	1	1	0	11
女性	0	1	3	4	12	16	14	6	3	59
計	0	2	3	5	16	19	15	7	3	70

4. 平均年齢 全体 86.8 歳 (前回 85.6 歳)

男性 84.2 歳 (最小年齢 71 歳 最高年齢 94 歳)

女性 87.3 歳 (最小年齢 63 歳 最高年齢 101 歳)

5. 要介護度

平均 3.39 (H28.3 3.86 H27.9 3.86)

	1	2	3	4	5	平均
男性	0 名	2 名	3 名	4 名	2 名	3.55
女性	1 名	5 名	17 名	18 名	19 名	3.88
計	1 名	7 名	20 名	22 名	21 名	3.83

6. 平成28年度 月別入退苑状況表

平成28年3月31日 現在

区分	入苑		退苑						現員		
			在宅ほか		長期入院		死亡				
月別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H.27度末	3	20	0	0	3	7	0	11	12	67	79
4月	0	1	0	0	0	0	0	1	12	67	79
5月	0	0	0	0	0	0	0	1	12	66	78
6月	0	1	0	0	1	0	0	1	11	66	77
7月	1	1	0	0	0	0	0	2	12	65	77
8月	0	1	0	0	0	0	0	3	12	63	75
9月	1	1	0	0	0	0	1	2	12	62	74
10月	0	1	0	0	0	0	0	1	12	62	74
11月	0	2	0	0	0	0	0	0	12	64	76
12月	0	0	0	0	0	0	0	2	12	62	74
1月	0	2	0	0	0	1	0	1	12	62	74
2月	0	1	0	0	0	0	0	2	12	61	73
3月	0	2	0	0	0	1	2	2	10	60	70
小計	2	13	0	0	1	2	3	18			
合計	15		0		3		21				

平成28年度 特別養護老人ホーム 利用状況表				平成29年3月31日	
月別	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	78	2,169	72.30	30	
5月	77	2,288	73.81	31	
6月	76	2,190	73.00	30	
7月	77	2,277	73.45	31	
8月	79	2,255	72.74	31	
9月	77	2,139	71.30	30	
10月	74	2,193	70.74	31	
11月	76	2,133	71.10	30	
12月	74	2,111	68.10	31	
1月	74	2,122	68.45	31	
2月	76	2,123	75.82	28	
3月	70	2,246	72.45	31	
合計	908	26,246	71.91	365	89.9%
前年実績(年間)	935	26,789	73.39	365	91.7%

平成28年度 主な行事実施報告書

実施日	行事名	参加利用者	備考
4月5日	花見会	45名	こもれ陽の会
5月11日	遠足	45名	アクアト岐阜(5/18・5/25)家族参加
6月4日	ホタル祭り	10名	地域協賛事業
6月15日	流しそうめん	30名	季節行事
7月7日	七夕会	45名	みんなのマジック
8月21日	納涼祭	48名	季節行事
9月19日	敬老会	45名	トリオひまわり(歌と演奏)
10月12日	月見会	20名	季節行事 瑞恵会
10月16日	運動会	55名	季節行事 家族参加
11月12日	文化祭	45名	季節行事 家族参加 地域自治会出店
12月7日	もちつき大会	32名	季節行事
12月21日	クリスマス忘年会	40名	季節行事 各職員の出し物
2月3日	節分祭	40名	季節行事 こもれ陽の会
3月4日	ひな祭り会	33名	季節行事 協美会
毎月	誕生日会	平均 35名	各ボランティア団体による催し物
年 2 回	お彼岸法要	平均 25名	在苑中に他界された方々の法要
年 3 回	利用者懇談会	平均 15名	ご利用者様との要望・意見交換会
年 2 回	家族会	平均 25名	ご家族との交流や介護保険制度の説明

ボランティア活動来苑者

(1) 誕生会他行事参加

来訪者・団体（敬称略）			
	<誕生会>	<花見会>	こもれ陽の会
4月	赤野他人	<七夕会>	みんなのマジック
5月	虹の会 岐阜	<琴演奏>	藍川北中学校
6月	虹の会 岐阜	<ふれあい>	藍川東中学校
7月	カラオケ大会（苑企画）		芥見幼稚園
8月	赤野他人		大洞保育園
9月	虹の会 関	<アイパチ>	岐阜県遊戯業協同組合
10月	こもれ陽の会		社会福祉事業協力会
11月	望の会	<彼岸法要>	西本願寺ビハラー
12月	瑞恵会	<お月見会>	瑞恵会
1月	赤野他人	<文化祭>	音楽療法
2月	秀採美会	<節分祭>	こもれ陽の会
3月	望の会	<雛祭り会>	協美会

(2) ドライヤー・清掃他

来訪者・団体（敬称略）			
日赤奉仕団	芥見東分団	藍川東中学校	
	芥見南分団	清流会	
	芥見 分団	少年友の会	
	岩 団		
アガベ			
レインボー			

(3) サークル・傾聴・外出他

来訪者・団体（敬称略）			
協美会	（生け花）	近藤 隆彦	（絵手紙）
たんぽぽ	（大正琴）	藤川 嘉子	（大正琴手伝い）
花友庵	（アレンジフラワー）	船坂 民平	（喫茶店）
この指とまれ	（傾聴、外出付き添い）	森 佳子	（音楽療法）
ピット	（フットセラピー）		

3 特別養護老人ホーム大洞岐協苑短期入所生活介護事業（定員20人）

介護保険指定 岐阜県指定 第2170100305号

概要

在宅で介護されるご家族の介護負担軽減を主目的とした事業であり、地域の期待やニーズに応えるために、利用者・家族が安心して利用できるサービスを提供しました。

1 重点目標

- ① 利用者・家族の気持ちに配慮し、また利用したいと思うサービスを提供しました。
- ② 家族・ケアマネージャーとの良好な関係作りのため、連絡相談を密に行いました。
- ③ 選ばれるショートステイ事業所としてサービスの質向上に努めました。
- ④ 稼働率90.8%を達成しました。（目標85%）
- ⑤ 利用者・家族の気持ちに配慮し、また行きたいと思えるサービスを提供しました。

2 重点目標に対する行動結果報告

- ・気持ちの良い挨拶・言葉使いに心がけました。
- ・フロアが居心地のよいリビングとなるように、利用者同士が交流できる雰囲気作り・レクレーションを実施しました。
- ・自宅での様子を家族やケアマネージャーから聞き取り、要望に応えるよう食事・環境を提供しました。
- ・問い合わせに対し迅速な対応ができるように、事務所内の情報共有を図りました。
- ・家族、ケアマネージャーが気軽に様子を見に来ることができるよう、行事案内の実施や受け付け職員も含め統一した対応に努めました。

3 介護サービス

- ① 居宅サービス計画に基づき、利用者の要介護状態の軽減又は悪化の防止及び利用者の心身の状況に応じ適切なサービスの提供に当たりました。
- ② 利用者に対し、1週間に2回以上その状態に応じ適切な方法により入浴、清拭及び部分浴を実施しました。
- ③ 排泄の自立についての誘導、排泄訓練など必要な援助を行いました。
- ④ おむつ使用者には、形態別おむつ使用、随時交換など適切な介助を行いました。
- ⑤ 口腔ケア、離床、着替え、整容等の介護を適切に行いました。
- ⑥ 利用者の身の周りの整理整頓に努め、室内の換気、温度調整に注意を払い、落ち着いた環境空間を提供しました。
- ⑦ 衣類は清潔に心掛け、洗濯は適切に行いました。

⑧ 心身の状況等を踏まえ、必要に応じて生活機能の改善又は維持のための機能訓練を行いました。

4 食事サービス

- ① 摂取状況を観察し、栄養士、看護師と連携を図り適切な食事の提供を図りました。
- ② 摂取困難な利用者に対しては、食事形態の変更等を図りました。
- ③ 選択メニューを導入し、個人のニーズに合わせました。

5 健康管理

利用者の健康の保持増進を図るとともに疾病の予防、異常の早期発見と日常の健康状態の把握に努め、必要に応じ主治医又は嘱託医との連携を図る等、健康管理に万全を期すものとししました。

6 機能訓練

利用者の皆様が在宅生活を継続できるよう、希望に応じて、身体機能の維持及び健康の増進を目標に機能訓練を行いました。

7 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図るために併設の特別養護老人ホームと協働し委員会活動を実施しました。また、短期入所生活介護事業の介護力の向上及びつながりのある支援を行うため、居宅サービス向上委員会（月1回、デイサービス、ヘルパー事業所とともに行う）を開催しました。

◎ 利用者の要介護状況（単位：人）

区分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	男	0	0	1	5	2	2	1	11
	女	0	0	2	12	10	3	3	30
	計	0	0	3	17	12	5	5	41
10月	男	0	0	0	3	2	3	1	9
	女	0	1	0	8	12	6	2	29
	計	0	1	0	11	14	7	3	38

平成28年度 大洞ショートステイ利用状況表

平成29年3月31日

月別	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	42	574	19.13	30	
5月	41	575	18.55	31	
6月	40	571	19.03	30	
7月	42	587	18.94	31	
8月	39	584	18.84	31	
9月	39	550	18.33	30	
10月	38	547	17.65	31	
11月	37	498	16.60	30	
12月	38	551	17.77	31	
1月	35	548	17.68	31	
2月	34	508	18.14	28	
3月	34	532	17.16	31	
合計	459	6,625	18.15	365	90.8%
前年実績(年間)	538	6,661	18.25	365	91.2%

4 老人デイサービスセンター大洞岐協苑事業

介護保険指定 岐阜市指定 第2170100792号

概要

指定居宅サービスである通所介護事業の適正な運営を確保するとともに、要介護状態等にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の生活指導及び介護サービスを行い、利用者が社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図る事ができました。

介護予防サービスは状態に即した自立支援と「生活機能向上・目標指向型」のサービス提供の推進に努めることができました。28年度は市町村が実施する新しい介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という）に順次移行していくこととなりましたが、円滑に移行することができました。

また、利用者の要望を把握し、多様なサービス体制（短時間利用の推進とその際の送迎対応、送迎時の移乗介助や更衣介助などの支援、個別サービスの積極的推進など）にて、多くの方々が利用できる環境を整え、利用率の大幅な増加を図ることができました。28年6月と29年2月に利用者・家族に対して満足度アンケートを行い、全体で15.4%の満足度アップを図ることができました。

9月より、基準緩和型デイサービス事業を開始しましたが、利用者の獲得をすることができませんでした。

居宅サービス向上委員会を行い、各種居宅サービス機関との情報共有を図り、地域包括ケアシステムを前提としたサービス向上を実施しました。

(1) 重点目標の結果

- ① 登録者数75名、月1回30名越え、週平均利用率75%の目標に対して、登録者数78.3名、22日間の30名越え、平均利用率86.1%の実績を残すことができました。
- ② 地域のニーズに応えるため、総合事業から重介護利用者まで幅広い受け入れ対応に努めることができました。
- ③ 根拠に基づいた生活支援を行い、在宅生活を豊かにできるデイサービスに近づくことができました。
- ④ お互いが支え合い、切磋琢磨することができる職場環境を作ることができました。

(2) 通所介護事業

① 通所介護計画

サービス提供の開始に際しては、居宅サービス計画に沿って利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ、機能訓練等の目標、サービスの具体的な内容をもりこんだ通所介護計画を作成し、適切なサービスの提供に努めました。

② 通所介護の内容

ア 生活指導（相談援助）

日常生活相談及び介護保険適用サービス相談を適切に行いました。

イ 介護サービス

移動、入浴、食事、排泄等の介助及び見守り等のサービスを行いました。

ウ 健康状態の確認

心身の健康状態等体調の観察及び確認と体調不良時には、主治医、家族・ケアマネージャーとの連携と適切な対応を行いました。

エ 食事

利用者への栄養価と嗜好をもとに、個人の健康状態に配慮した食事形態で提供と食事中の見守りと介助及び選択メニューによる自己選択の推進を行いました。

オ 入浴

身体状況にあわせて、特殊浴槽又は一般浴槽により入浴又は清拭を行いました。

カ 送迎

リフト付きバス等による送迎を主として実施していますが、家庭事情を考慮し、それぞれの事情に応じて時間を調整し、関係機関との連携を図り、個々のニーズに合わせた送迎及び安全な運行に努めました。

③ 機能訓練

利用者の健康状態及び運動能力を把握し、可能なかぎり自宅での生活が続けられるよう機能の維持及び改善並びに健康の維持増進を図り、QOL（生活の質）の向上を目指し、3か月に一度お宅を訪問してアセスメントを行ったうえで、個別機能訓練計画を作成し実施を行いました。

④ 余暇活動

利用者に対して集団的に行うレクリエーションと共に、個別レクリエーションを実施し、創作活動・生活機能維持・向上に努めました。

(3) 介護予防通所介護事業の内容

① 運動器機能向上サービス

機能訓練指導員を中心に看護職員、介護職員が共同して個別計画を作成し適切なサービスの実施を行いました。

② 栄養改善サービス

栄養ケア計画を作成し、これに基づくサービスを実施する計画を作成し、これに基づいたサービスを提供する体制を整えたが、対象者はありませんでした。

③ 口腔機能向上サービス

口腔機能の低下、又はその恐れのある利用者に対し口腔機能改善のための計画を作成し、これに基づくサービスを提供する体制を整えたが、対象者はありませんでした。

9月に岐阜市歯科医師会と連携し、希望者18名の歯科健康診断センター内で実施しました。

(4) 岐阜市介護予防・日常生活支援総合事業デイサービス事業の内容

岐阜市が実施する地域支援事業として、総合事業対象者に対してデイサービス事業の実施を行いました。サービス内容は通所介護事業に準じたものとし、介護予防につながる活動の提供を行いました。

区 分		総合 事業	支援 1	支援 2	要介 護 1	要介 護 2	要介 護 3	要介 護 4	要介 護 5	合 計
4 月	男	1	2	5	7	3	1	1	0	20
	女	2	1	16	13	15	7	2	0	56
	計	3	3	21	20	18	8	3	0	76
10 月	男	1	3	1	7	2	0	2	0	16
	女	3	3	19	10	14	7	4	1	61
	計	4	6	20	17	16	7	6	1	77

◎ 利用者の要介護状況 (単位: 人)

平成28年度 デイサービスセンター利用状況表

平成29年3月31日

月別	区部	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	総合	8	43	1.65	26	
	予防	19	136	5.23		
	介護	49	442	17.00		
	計	76	621	23.88		
5月	総合	17	93	3.58	26	
	予防	16	127	4.88		
	介護	47	460	17.69		
	計	80	680	26.15		
6月	総合	17	105	4.04	26	
	予防	15	87	3.35		
	介護	50	488	18.77		
	計	82	680	26.15		
7月	総合	14	93	3.58	26	
	予防	11	88	3.38		
	介護	49	465	17.88		
	計	74	646	24.85		
8月	総合	15	110	4.07	27	
	予防	10	79	2.93		
	介護	48	476	17.63		
	計	73	665	24.63		
9月	総合	18	118	4.54	26	
	予防	8	62	2.38		
	介護	47	473	18.19		
	計	73	653	25.12		
10月	総合	25	152	5.85	26	
	予防	5	38	1.46		
	介護	47	485	18.65		
	計	77	675	25.96		
11月	総合	26	168	6.46	26	
	予防	4	30	1.15		
	介護	52	513	19.73		
	計	82	711	27.35		
12月	総合	25	165	6.35	26	
	予防	4	30	1.15		
	介護	51	542	20.85		
	計	80	737	28.35		
1月	総合	31	173	7.21	24	
	予防	0	0	0.00		
	介護	52	480	20.00		
	計	83	653	27.21		
2月	総合	34	186	7.75	24	
	予防	0	0	0.00		
	介護	51	463	19.29		
	計	85	649	27.04		
3月	総合	31	183	6.78	27	
	予防	0	0	0.00		
	介護	50	498	18.44		
	計	81	681	25.22		
合計	総合	261	1,589	5.13	310	86.6%
	予防	92	677	2.18		
	介護	593	5,785	18.66		
	計	946	8,051	25.97		
前年実績 (年間)	総合	0	0	0.00	312	73.6%
	予防	238	1,583	5.07		
	介護	584	5,307	17.01		
	計	822	6,890	22		

5 大洞岐協苑訪問介護事業

介護保険指定 岐阜市指定 第2170101139号

概要

要介護状態等となった高齢者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、更に安心して、安全に暮らせるよう精神面の支援を含め、身体介護、生活援助等生活全般にわたる援助を行いました。

そのために、職員は仕事に誇りを持ち、常に利用者の気持ちを考えながら自立支援に努めた。また、チームで訪問介護にあたるため、業務の内容や手順、留意点を常に確認して、職員間の連携を密にし、かかわる全てのヘルパーが統一した方法で介護サービスを提供できるようにしました。特に、登録ヘルパーとの連携強化は重要で、登録ヘルパーの確保と資質向上のため研修の機会を実施しました。また他事業所の訪問介護事業所への見学を行い、意識の向上と今後の方向性を見出すことができました。

各種居宅サービス機関との連携を行い地域包括ケアシステムのもと、登録ヘルパーの増強を図るなど訪問介護事業の拡大発展に努めるとともに居宅サービス向上拡大の為に委員会を設置しました。

(1) 重点目標

- ① 利用者の環境に関心を持ちつつ、各事業所との連携につなげました。
- ② 利用者の生活週間や価値観に沿って訪問介護サービスを提供できるよう努めました。
- ③ 介護技術向上・ヘルパーの確保と養成（ヘルパー会議、研修）に努めました。
- ④ 総合事業者の積極的な受け入れに努めました。

(2) サービスの区分

① 身体介護中心型

利用者の身体に直接接触して行う介助並びにこれを行うために必要な準備及び後始末並びに利用者の日常生活を営むのに必要な機能の向上等のための介助及び専門的な援助を行いました。

② 生活援助中心型

単身の世帯に属する利用者又は家族若しくは親族（以下、「家族等」という。）と同居している利用者であって、当該家族等の障害、疾病等の理由により、当該利用者または当該家族等が家事を行うことが困難であるものに対して援助を行いました。

(3) サービスの内容

① 身体介護中心型

- ア 食事介助 嚥下や水分摂取状態に注意しながら介助を行いました。
- イ 入浴介助 身体状態に合わせ、入浴及び清拭、洗髪を行いました。
- ウ 排泄介助 トイレへの誘導、おむつ交換などを適切に行いました。
- エ 口腔ケア 食事後、口腔等の清潔保持のためブラッシングや義歯の手入れを行いました。
- オ 体位交換 自力で思うように体が動かせない方が床ずれを作らないよう、体の向きを変えました。
- カ 衣類交換 着替えの準備や衣類の交換を行いました。

② 生活援助中心型

- ア 買い物 調理に必要なもの、その他生活に必要な物品の買い物を行いました。
- イ 調理 嗜好に合わせた献立による調理を行い、食事の準備、後片付けを行いました。
- ウ 掃除 生活環境を整え、清潔が保てるよう掃除を行いました。
- エ 洗濯 生活環境を整え、衛生が保てるよう着替え衣類の洗濯を行いました。
- オ 寝具の整理 シーツ交換、布団干し、ベッドメイキング等寝具の衛生保持を行いました。
- カ ゴミ出し ゴミをとりまとめ、地域の指定場所へ出しました。
- キ 相談助言 悩みなどを拝聴し、関係者に報告しました。

(4) 介護予防訪問介護

予防給付の訪問介護の対象者については、本人が自力で家事等を行うことが困難な場合であって、家族や地域による支え合いや他の福祉施策などの代替サービスが利用できない場合について、適切なケアマネジメントに基づきサービスを提供しました。

(5) 岐阜市介護予防・日常生活支援総合事業ホームヘルプ事業の内容

岐阜市が実施する地域支援事業として、総合事業対象者に対してホームヘルプ事業を実施しました。サービス内容は介護予防事訪問介護事業に準じたものとし、介護予防につながる活動を提供しました。

(6) 有償サービス

介護保険サービスでは対応ができない病院付添いなどの要望について、有償サービスで対応を行いました。

◎ 利用者の要介護状況（単位：人）

区 分		総合 事業	支援 1	支援 2	要介 護 1	要介 護 2	要介 護 3	要介 護 4	要介 護 5	合 計
4 月	男	0	4	4	5	1	2	0	0	16
	女	0	15	10	9	8	3	1	0	46
	計	0	19	14	14	9	5	1	0	62
10 月	男	1	5	2	4	2	2	0	0	16
	女	0	14	13	9	7	3	4	1	51
	計	1	19	15	13	9	5	4	1	67

平成28年度 ホームヘルパー利用状況表

平成29年3月31日

月別	区部	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	総合	2	5	0.19	26	
	予防	31	172	6.62		
	介護	29	182	7.00		
	計	62	359	13.81		
5月	総合	8	36	1.38	26	
	予防	24	148	5.69		
	介護	28	191	7.35		
	計	60	375	14.42		
6月	総合	11	59	2.27	26	
	予防	21	138	5.31		
	介護	28	205	7.88		
	計	60	402	15.46		
7月	総合	20	103	3.96	26	
	予防	15	92	3.54		
	介護	29	212	8.15		
	計	64	407	15.65		
8月	総合	20	123	4.56	27	
	予防	12	72	2.67		
	介護	28	204	7.56		
	計	60	399	14.78		
9月	総合	24	137	5.27	26	
	予防	9	55	2.12		
	介護	30	237	9.12		
	計	63	429	16.50		
10月	総合	26	143	5.50	26	
	予防	9	60	2.31		
	介護	32	240	9.23		
	計	67	443	17.04		
11月	総合	24	139	5.35	26	
	予防	8	45	1.73		
	介護	33	248	9.54		
	計	65	432	16.62		
12月	総合	23	132	4.89	27	
	予防	7	42	1.56		
	介護	30	244	9.04		
	計	60	418	15.48		
1月	総合	31	167	6.42	26	
	予防	0	0	0.00		
	介護	29	206	7.92		
	計	60	373	14.35		
2月	総合	31	153	6.38	24	
	予防	0	0	0.00		
	介護	28	207	8.63		
	計	59	360	15.00		
3月	総合	30	164	6.07	27	
	予防	0	0	0.00		
	介護	28	248	9.19		
	計	58	412	15.26		
合計	総合	245	1,350	4.31	313	
	予防	150	944	3.02		
	介護	352	2,624	8.38		
	計	738	4,809	15.36		
前年実績 (年間)	総合	0	0	0.00	312	
	予防	423	2,196	7.03		
	介護	322	2,580	8.27		
	計	745	4,776	15.3		

6 グループホーム大洞岐協苑事業（定員9人）

介護保険指定 岐阜県指定 第2170102483号

認知症対応型共同生活介護は、要介護者であって認知症の状態にある者に対し、家庭的な環境と地域住民との交流の下で入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう援助しました。

平成28年度も、優しく温かな対応と言葉使いを基本にして、高齢化と重度化に対応し、転倒防止のための体力づくりの体操や散歩を継続しました。食事は薄味、低糖などの健康管理を基本にしたバランスの良い家庭的なメニューを提供しました。

また、「ふれあいサロン」への参加を積極的に勧め、地域とのかかわりを大切にしました。入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立ったサービスの提供を務めるとともに、季節感を大切に心地よい日常生活を提供しました。

また、職員の意識改革を行うと共に排泄表とADL記録の書式を変更し、常に利用者の細かな変化に気がつけるようにしました。

（1）重点目標の結果

- ① 担当者会議を開催し家族の要望を聞くことができました。また、バーベキュー大会を開催する事ができました。
- ② 地域のふれあいサロンに利用者と参加する事ができました。
- ③ ADL低下による転倒骨折、肺炎があり入院者がありました。転倒防止の為、離床センサーを購入し設置しました。

（2）サービスの取り扱い方針

- ① サービスは、利用者の認知症の症状の進行を緩和し、安心して日常生活を送ることができるよう利用者の心身の状況を踏まえて行いました。
- ② サービスは、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮しました。
- ③ サービスの提供に当たっては、利用者の生命又は身体保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行なう事はありませんでした。

（3）介護計画

認知症対応型共同生活介護計画（以下「介護計画」という。）は、計画作成担当者が作

成し、介護計画の作成に当たっては、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ具体的な内容としました。

(4) 介護サービス

サービスの提供に当たっては、介護計画に基づき入居者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう適切に行い、食事その他の家事等は、利用者と介護職員が共同で行うよう努めました。

① 介護保険給付対象サービス

- ア 入浴、排泄、食事、着替え等の介護
- イ 日常生活の世話
- ウ 日常生活の中での機能訓練
- エ 相談援助

② 介護保険給付対象外サービス

- ア 居室の提供
- イ 共同施設（光熱水費含む）
- ウ 金銭管理（希望者）
- エ 食材費
- オ おむつ
- カ 教養娯楽費

(5) 自己評価及び外部評価

グループホームの現状を多角的に分析し改善を図り、サービスの質の向上を高めるため自己評価を実施した。また、9月に第三者による外部評価を受けました。

(6) 食事サービス

- ① 嚥下状態の悪い利用者に対しては食事形態を変更、自助具を使用し、誤嚥のないように職員が見守りしながら適切な介助を行いました。
- ② 糖尿病の診断のある利用者には、主治医・管理栄養士と相談し、食事内容の変更を行いました。

(7) 健康管理

利用者の多様な疾患の実態を把握し、健康の保持増進を図るとともに、疾病予防、異常の早期発見と日常の健康状態の把握に努め、健康管理に万全を期した。特に、利用者の主治医との連携を密に行いました。

入浴前検温・検圧、月1回の体重測定、日常的に相談援助、食事摂取量、排泄の確認

及び記録を実施しました。

また記録ファイルを個人別に作成し、日々の様子を記入するように変更しました。

糖尿病の方には、主治医・管理栄養士に相談し食事内容を変更しました。

(8) 運営推進会議の開催

地域住民又は自発的な地域活動との連携及び協力を行う等、地域との交流を図る目的で二ヶ月に1回開催しました。

(9) 非常災害対策

利用者の安全を図るため、別に定める施設防災管理規定に従って、避難救出訓練を年2回(4月、10月)実施しました。また、消防施設の保全及び整備点検に努めました。

グループホーム入居者状況表

平成29年3月31日現在

1. 定員 9 名 現入居者 8 名 (入院) 1 名

2. 性別 男性 0 名 女性 9 名

3. 年齢別

	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100～	計
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	1	0	4	1	3	0	9
計	0	0	0	1	0	3	1	3	0	9

4. 平均年齢 全体 89.8 歳 前回 89.0 歳

男性 0.0 歳 (最小年齢 0 歳 最高年齢 0 歳)

女性 88.9 歳 (最小年齢 75 歳 最高年齢 98 歳)

5. 要介護度

平均 1.75

	1	2	3	4	5	平均
男性	0	0	1	0	0	3.00
女性	3	2	3	1	0	1.57
計	4	2	4	1	0	1.75

6.平成28年度 月別入退居状況表

区分	入居		退居						現員		
			他施設へ入所		長期入院		死亡				
月別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H.28年度末	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9
4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9
5	0	0	0	0	1	0	0	0	1	8	9
6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	9
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	8
計	0	1	0	0	1	0	0	0			
合計	1		0		1		0				

平成28年度 グループホーム 利用状況表

平成29年3月31日

月別	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	9	253	8.43	30	
5月	8	248	8.00	31	
6月	9	256	8.53	30	
7月	8	248	8.00	31	
8月	8	248	8.00	31	
9月	9	258	8.60	30	
10月	9	279	9.00	31	
11月	9	270	9.00	30	
12月	9	277	8.94	31	
1月	9	272	8.77	31	
2月	9	238	8.50	28	
3月	9	266	8.58	31	
合計	105	3,113	8.53	365	94.8%
前年実績(年間)	108	3,247	8.90	365	98.8%

7 在宅介護支援センター事業

介護保険指定 岐阜市指定 第2170100123号

概要

指定居宅介護支援事業の適正な運営を確保するとともに、要介護等の認定を受けた高齢者等が住みなれた場所で生活するために、利用者のニーズを各サービス実施事業者伝えて、必要なサービスの理解を求めながら、介護支援専門員が居宅サービス計画を作成し適切に介護サービスの提供を図ることができました。

特に、日々の実践のなかで、様々なニーズに応えるため、関係機関・各事業所等と情報を交換し、必要な知識を習得してケアマネジメントの質の向上に取り組むと共に、親切丁寧な相談支援を行うことにより、信頼される指定居宅介護支援事業所となるよう努める事ができました。また、毎月地域のサロンへ参加し、地域住民との関わりを深めることができました。

各種居宅サービス機関との連携を行い地域包括ケアシステムの確立に尽力し、居宅サービス向上の為に委員会を設置しました。

(1) 重点目標

- ① ケアプラン担当件数の上限95%（常勤プラン33件）を目指しましたが、結果は平均31件となりました。
- ② アンケートの結果を生かし、サービスの質の向上に努めることができました。
- ③ そのひとらしく住み慣れた地域で暮らせるように、包括支援センター・サービス事業所・社会資源等との連携、情報の共有を図ることができました。

(2) 居宅介護支援事業の内容（介護保険事業）

- ① 居宅サービス計画は、居宅介護支援専門員により要介護等の認定者が自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者及びその家族の希望を踏まえて居宅サービス計画を作成することができました。
- ② 居宅サービス計画は、保険給付の対象になるか否か、その種類、内容及び利用料等について利用者又はその家族等に説明し同意を得ることができました。
- ③ 居宅サービス計画に位置付けたサービス等は、サービス担当者会議又は照会等によりその担当者から意見を求めることができました。
- ④ 居宅サービス計画は、介護認定審査会の意見又はサービスの種類の指定がされている場合は、その内容にそって作成することができました。
- ⑤ プラン作成後は、月1回は利用者宅を訪問し、サービスの実施状況を把握し、必要に応じてプランを変更し事業所等へ連絡調整することができました。

⑥ 要介護状態等の更新は、要介護認定等の有効期間の満了の30日前に申請できるように援助することができました。

(3) 介護予防支援事業（地域包括支援センターからの受託事業）

岐阜市地域包括支援センター東部との連携を一層緊密にし、介護予防支援と居宅介護支援の有機的連携強化を図り、介護予防支援事業の積極的な拡充を図ることができました。

(4) 要介護認定調査（岐阜市からの受託事業）

介護保険の新規認定及び更新認定に必要な訪問調査を1ヶ月あたり31件程度受託し、訪問調査後すみやかに調査票を作成することができました。また、岐阜市の実施する介護認定調査員研修に参加し、スキル向上に努めることができました。

(5) 介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ

介護支援専門員実務研修にかかる岐阜県指定研修機関である社会福祉法人岐阜県福祉事業団岐阜県福祉総合相談センターからの要請により、介護支援専門員実務研修見学受講者1名の指導を行いました。

◎ 利用者の要介護状況（単位：人）

区 分	要支援		介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	
	1	2							
4 月	男	1	1	15	11	5	2	0	35
	女	2	7	23	20	10	6	1	69
	計	3	8	38	31	15	8	1	104
10 月	男	2	2	15	11	5	3	0	38
	女	3	5	19	19	11	9	2	68
	計	5	7	34	30	16	12	2	106

平成28年度 居宅介護支援事業所利用状況表

平成29年3月31日

月別	区部	ケアプラン作成数	備考	認定調査	備考
4月	予防	11		40	
	介護	96			
	計	107			
5月	予防	11		34	
	介護	95			
	計	106			
6月	予防	11		22	
	介護	97			
	計	108			
7月	予防	10		38	
	介護	95			
	計	105			
8月	予防	11		31	
	介護	95			
	計	106			
9月	予防	13		30	
	介護	91			
	計	104			
10月	予防	12		27	
	介護	92			
	計	104			
11月	予防	12		27	
	介護	92			
	計	104			
12月	予防	11		32	
	介護	92			
	計	103			
1月	予防	10		29	
	介護	92			
	計	102			
2月	予防	10		21	
	介護	90			
	計	100			
3月	予防	9		31	
	介護	90			
	計	99			
合計	予防	131	月平均	362	月平均
	介護	1,117	104.00		30.17
	計	1,248			
前年実績 (年間)	予防	76	月平均	376	月平均
	介護	1,204	106.67		31.33
	計	1,280			

8 ケアハウス大洞岐協苑事業（定員20人）

概要

軽費老人ホームケアハウスは、身体機能の低下等が認められ、又は高齢のため独立して生活するには不安が認められる方等に対し、住居の提供を行いました。

また、入居者の自主性を尊重し、利用者が明るく心豊かな生活ができるよう食事の提供、入浴の準備、相談機能の充実、余暇活動の援助など職員間の連携体制を確立し処遇に万全を期するよう努めました。

しかし、利用者の身体機能の低下は加齢に伴い低下しており、新規利用者も、要介護の方が増えています。その為利用者の状況に合わせた対応に努めました。

身体機能維持に努めながらも、更に近年、年金生活であるが故の困窮、個人差もある中、外出などを躊躇される方が増えています。

1 サービスの提供

(1) 利用者に対して、親身になって相談に応ずるとともに利用者間の人間関係の調整を図るため適切な助言を行い、必要に応じて行政及び居宅介護サービス等と十分な連携をとり積極的な援助を実施しました。高齢化・重度化傾向を考慮し、配薬管理・服用援助(9名)を行いました。受託金銭等取扱要領が整備され利用者からの依頼に基づいて金銭管理等を1名に対し行いました。

(2) 利用者に対し毎日3食を栄養士の献立に基づき栄養バランスに留意し食事の提供を行いました。嗜好調査を半年ごとに行い、副食の代替え変更が出来るようサービスを行いました。

(3) 大浴場は、月曜日から土曜日まで、小浴場は、毎日使用できるよう、衛星面、他、安全面に配慮し、季節を感じて頂ける様、アロマ入浴などの実施他入浴環境を整備しました。

2 生活の援助

利用者に対し、日常生活を楽しく明るく心豊かに生活できるよう、編み物、絵手生け花、カラオケの参加促進を図ると共に、外出ツアーなどの苑外活動を増やし、自立への促進援助を図りました。又バーベキュー交流会(10月)開催、ご家族、ボランティア講師の方々との交流を深めるための取り組みを行いました。更に近年の高齢者の交通事故増加に伴い、交通安全に対する意識向上の為『わたり上手君』シュミレーションゲームにより自身の安全意識を高めるための取り組みを行った他、地域で開催される介護予防教室への参加等自立生活の促進、地域支援事業協賛として地域交流室での映画鑑賞会などにも参加して頂き、特に身体機能低下傾向の方々の参加が出来、楽しんで頂くことが出来ました。

3 健康管理

利用者の身体状況を把握し、1週間に1回毎食前の3分間リハビリ体操の実施、年1回の健康診断、インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチン等の感染予防に取り組みましたがインフルエンザA型2名感染、内1名は身体機能低下から常時介護が必要となり介護施設への転居となりました。以降も健康管理と共に手洗いの励行、嗽、外出時のマスク着用などの感染予防に対する注意喚起を行い、必要に応じ、専門医の診察を受けるよう助言するなど、健康管理にも万全を期するよう努力しました。

4 非常災害対策

火災、地震、等の非常災害に備え、年2回(5月・11月)の避難訓練への参加、更に防災意識を高める意味において居室内に於いての環境整備の重要性の説明し、居室及び施設の整備点検に努めました。

◎ 入居状況(単位人:人) 1日在籍人数です。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	237

夫婦居室の場合=1人欠員により在籍者数1月より19人 単独入居者希望は、有。

ケアハウス入苑者状況表

平成29年3月31日 現在

1. 定員 20 名 現入居者 19 名 (入院) 0 名

2. 性別 男性 5 名 女性 14 名

3. 年齢別

	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～	計
男性	0	1	1	0	1	1	0	1	5
女性	0	1	1	2	4	2	3	1	14
計	0	2	2	2	5	3	3	2	19

4. 平均年齢 全体 85.5 歳 (前回 82.7 歳)

男性 87.5 歳 (最小年齢 69 歳 最高年齢 96 歳)

女性 84.9 歳 (最小年齢 69 歳 最高年齢 95 歳)

5. 要介護度

平均 0.84

介護ランク	自立	要支援1	要支援2	介1	介2	介3	介4	介5	平均
男性	1	0	1	3	0	0	0	0	0.44
女性	4	2	1	5	2	0	0	0	1.25
計	5	2	2	8	2	0	0	0	0.84

6. 平成28年度 月別入退苑状況表

平成29年3月31日 現在

区分	入苑		退苑						現員		
			在宅ほか		長期入院		死亡				
月別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H.28度末									5	14	19
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	20
1月	0	0	0	0	0	0	1	0	4	15	19
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	4	15	19
3月	1	0	0	1	0	0	0	0	5	14	19
計	1	0	0	1	0	0	1	0			
合計	1		1		0		1				

9 岐阜市地域包括支援センター東部事業

地域の高齢者が、支援や介護が必要な状態になっても、又は認知症になったとしても、安心して住み慣れた街で生活が送れるよう、医療・介護・福祉・地域関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの確立に努めました。

特に、認知症対策には重点を置き、平成28年度から配置された認知症対策の中心的な役割を果たす「認知症地域支援推進員」と「心をつなぐほっとメイト会」との連携を高め、認知症徘徊搜索模擬訓練、認知症カフェ、サポーター養成講座、東部ステップアップ研修（サポーター研修修了者のフォロー研修）、地域ネットワーク会議などを通じて、認知症の理解を深める活動を行いました。

また、地域サロン・高齢者の集い・定期総会などに積極的に参加し、包括支援センターの活動を紹介し、相互協力が行える関係づくりに努めました。

地域包括支援センター内に設置する指定介護予防支援事業所では、介護保険の要介護認定で要支援の認定を受けた方及びチェックリストによる事業対象者に対し、要支援状態等の維持向上に繋がる介護予防ケアプランを作成し、関係機関と連携し在宅生活の維持に努めました。

1 地域に密着したセンターとしての取り組み

- (1) 地域包括支援センターの活動をより多くの方に知ってもらうための広報誌「のんびり通信」を年6回（7月・8月・9月・11月・12月・3月）、発行しました。認知症予防、介護予防、地域のサークル活動などの話題や認知症カフェ、認知症徘徊搜索模擬訓練、予防教室への参加案内を行いました。
- (2) 第1・3週の水曜日をバロー芥見店、第2・4週の水曜日をバロー岩田店にて、出張相談窓口を開設し相談に応じました。バロー芥見店は、改装に伴い8月以降は相談スペースが確保できず中止となったが、バロー岩田店は継続しています。また、芥見東地域に12月にオープンした空き家活用の3世代交流センター「みどりっこハウス」では、1月から第1・3週の水曜日に福祉総合相談の窓口を開設しています。
- (3) 介護予防教室を年2回（8月・2月）主催し述べ47名の参加があった。
- (4) 地域サロン（年間91回参加）に積極的に参加した。地域包括支援センターの周知活動とともに、講話・体操などを行い介護予防・認知症予防の啓発に努めた。

2 認知症高齢者に対する取り組み

(1) 心をつなぐほっとメイト会の活動

H27年度より、包括支援センターが中心となり発足したケアマネジャー・福祉関係者の有志によるチーム「心をつなぐほっとメイト会」は、H28年当初は4事業所13名でスタートし、3月末は6事業所18名に拡大することができた。

認知症になっても住み慣れた地域づくりを目指して①認知症徘徊搜索模擬訓練、②認知症カフェの開催、③サポーター養成講座、④東部ステップアップ研修、⑤メイト会員の支援（東部ステップアップ研修の修了者）、5本の柱を立て、毎月第4金曜日に定期連絡会議を開催し、協働し以下の活動を実施した。

①徘徊搜索模擬訓練（平成28年11月18日実施）

芥見東・芥見南地域を対象に「第1回認知症おでかけサポート訓練」を実施した。地域の協力に支えられ、各団体への説明、警察・消防との連携、東部の商業関係者へのあいさつや説明、協力依頼を行い、多くの参加者（118名）により実施することができた。目的を①認知症への理解を深める機会とする②認知症の方への声がけを体験する③認知症になっても住み良いまちづくりをする、とし、訓練内容（連絡訓練・発見訓練・声掛け訓練）を設定して取り組んだ。

東部4つの地域のうち2地域で訓練を実施したが、実施しない2つの地域からは徘徊者役としての協力を得た。行わない地域からの協力を得ることで4つの地域が協力し合うことができた。今回の体験と反省を踏まえ、次年度の計画につなげることができている。

②認知症カフェの開催（H28.10：コープ大洞虹の家 H28.12：岩滝公民館 H29.3：あいかわの杜）

近隣地域で行われているカフェ5カ所の視察を行い、認知症の方が地域の方と触れ合える場、役割りが持てる場、介護者が悩みを分かち合える場としての機能を持たせるよう実施方法と内容を協議した。当初は年2回の開催を計画したが、地域やメイト会員の協力もあり、年3回開催することができた。2回目の開催は岩地域からの招致により、開催までの準備に地域役員の協力を得ながら進めることが出来た。参加者の特技（手品）を披露してもらい3回目はグループホーム利用者による紙芝居を披露してもらい、本人の活躍の場としての機能をつくる事ができた。

③サポーター養成講座

地域に対して7回実施し、延べ282名のサポーターが生まれた。幅広い世代への研修として、11月には藍川東中学校1年生を対象に（社協芥見東支部の介護予防教室として）開催し、74名の中学生サポーターが誕生した。

④東部ステップアップ研修

平成28年10月から平成29年1月にかけて、32名の受講者に対し、3日間コースでステップアップ研修を行った。2日目には東部地域にあるグループホーム5事業所の協力を得て、グループホームでの会話体験を行った。認知症の方との会話を体験した参加者からは、地域で認知症の方にも会っても、ためらわず声掛け出来る自信につながったと感想があった。

⑤メイト会員の支援

平成27年度のステップアップ研修修了者26名に対して、8月25日に全体会を行い、認知症カフェと徘徊搜索模擬訓練への参加を呼びかけた。また、平成28年度の認知症カフェと徘徊搜索模擬訓練には延べ15名の協力があつた。2年間で58名のメイト会員に対し、会員同士の繋がりや情報共有のために「メイト会報」（3月）を発行した。

（2）見守り体制構築「ネットワーク会議」の開催

認知症見守り体制の構築をテーマとし、主に認知症徘徊搜索模擬訓練の「打ち合わせ・検討会」と位置付け、年4回（6月・9月・12月・3月）開催した。

東部4つの地域の自治会連合会・民生委員協議会・社協支部・日赤奉仕団・老人クラブ連合会・居宅支援事業所の他、警察・消防・薬剤師・歯科・コンビニエンスストア・タクシー・新聞店など、多くの団体からの参加があつた。

3 介護予防・日常生活支援総合事業

H28年度より開始された事業で「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」があり（それぞれ「事業対象者」と「一般高齢者」という。）生活機能の低下がみられる高齢者に対して、岐阜市が主催する、まめかな訪問事業や口腔機能向上教室（おいしく食べよう教室）への参加を促しケアプランを作成、介護予防に努めた。

また、事業対象者が通所型・訪問型サービスを利用する場合には、介護予防アマネジメント事業として自立に向けたケアプランの作成と委託ケアプランの確認を行った。

来年度から予定されている住民主体型デイについては、自治会・行政との打ち合わせ会への参加や対象者への周知、ケアプランへの記載について準備を整えた。

◎実績内訳（延べ件数）

おいしく 食べよう教室	まめかな 訪問事業	短期集中型 デイサービス	住民主体型 デイサービス
23件	0件	0件	—

4 介護予防支援事業（介護保険指定 岐阜市指定 第2100100185号）

指定介護予防支援事業の適正な運営を確保し、要支援または事業対象者の認定を受けた高齢者等が住みなれた場所で生活を続けていくため、利用者のニーズを把握し、フォーマル・インフォーマルな社会資源を組み合わせた介護予防ケアプランを作成して適切な予防サービスの調整と自立に向けた支援を行った。関係機関・各サービス事業所等と情報を共有し、研修会の企画や参加を行うなど介護予防ケアマネジメントの質の向上に取り組んだ。

また、東部地域に事業所のある7ヶ所の居宅支援事業所及び近隣地域にある13ヶ所の居宅支援事業所、県外事業所1か所（計21事業所）と業務委託契約を結び、一定数（月当たり：約111件）の予防ケアプラン業務を委託した。受託事業所とは連携を密にし、利用者の自立につながる介護予防ケアプランの作成に努めた。

5. 岐阜市日常生活圏域協議体事業

平成28年度からモデル事業として事業受託した「協議体」を年4回（7月・11月・1月・2月）開催した。「これまでのネットワーク会議にて地域の困りごとを出してきたため、1回目に「わが町のいいところ」を出しあった。「いいところ」と「困り事」の比較とその背景を探ったあとは絞られたテーマについて話し合い、地区ごとの具体策について検討した。具体策の検討に入ると出席者だけでは決められない事も多く今後の課題として残った。既にH29年度から空き家を活用した3世帯交流センターを開所する地区からの経過紹介の場ともなり、他の地域への刺激となった。グループ発表を参加者が行ったことも、住民の手で作出すという意識につながった。

（※）「協議体」とは、地域団体の代表者、介護関係者、福祉関係者による地域の困りごとに対応する社会資源の開発を目的とした話し合いの場

平成28年度 岐阜市地域包括支援センター東部 相談等活動状況表

平成29年 3月31日

相談人数																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
実数	48	36	38	38	44	54	50	36	30	40	38	33	485	520	93%	
延べ人数	48	46	46	52	57	78	74	49	45	59	55	55	664	576	115%	
地域別相談数																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
芥見東	22	18	15	21	21	27	24	19	15	17	16	20	235	205	115%	
芥見南	6	10	9	10	8	12	12	10	7	10	9	10	113	75	151%	
芥見	14	9	11	4	15	17	21	14	11	20	17	16	169	140	121%	
岩	5	6	7	12	11	18	13	5	9	10	8	7	111	116	96%	
その他	1	3	4	5	2	4	4	1	3	2	5	2	36	40	90%	
小計	48	46	46	52	57	78	74	49	45	59	55	55	664	576	115%	
相談経路																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
本人・家族	26	20	17	14	21	20	21	10	17	17	18	15	216	220	98%	
地域住民	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	7	13	54%	
民生委員	6	2	3	5	5	6	6	5	1	3	6	1	49	56	88%	
地区役員	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	12	17%	
医療機関	6	4	6	7	4	7	5	4	2	6	4	5	60	61	98%	
事業所	4	5	8	9	8	15	8	10	6	8	5	8	94	75	125%	
その他	6	4	4	3	4	6	9	4	4	6	4	3	57	83	69%	
小計	48	36	38	38	44	54	50	36	30	40	38	33	485	520	93%	
相談内容																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
予防相談	3	4	2	4	1	6	2	3	0	2	1	0	28	25	112%	
介護相談	17	15	22	25	16	26	33	22	18	32	31	27	284	177	160%	
医療、疾病	0	2	2	1	5	5	3	1	0	1	1	3	24	30	80%	
施設、病院	4	5	3	5	6	7	3	3	6	3	5	3	53	31	171%	
心理的問題	3	3	1	1	12	12	12	0	2	8	6	5	65	69	94%	
経済的問題	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0	1	0	7	8	88%	
生活問題	4	6	7	7	7	10	11	7	7	8	4	9	87	130	67%	
虐待	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	7	10	70%	
権利擁護	5	1	0	1	1	1	3	3	7	1	1	1	25	6	417%	
消費者被害	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	300%	
その他	10	10	4	5	7	11	6	10	4	4	3	7	81	89	91%	
小計	48	46	46	52	57	78	74	49	45	59	55	55	664	576	115%	
相談手段																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年	
来所	9	12	6	18	7	20	14	6	10	12	11	14	139	131	106%	
電話	32	29	38	31	47	55	50	43	34	46	38	36	479	392	122%	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0%	
訪問、サロン	7	5	2	3	3	3	10	0	1	1	6	5	46	50	92%	
小計	48	46	46	52	57	78	74	49	45	59	55	55	664	576	115%	
訪問件数																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
実人数	93	32	27	21	33	48	26	17	35	29	21	19	401	310	129%	
延べ件数	120	40	29	24	42	52	30	18	37	33	22	21	468	662	71%	
会議等参加																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H27	前年比	
地域サロン	8	7	7	6	8	7	9	7	9	6	10	7	91	88	103%	
GH等運営推進会議	3	1	5	2	2	4	2	2	2	2	4	2	31	21	148%	
民生委員定例会	4	1	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	10	0		
その他	1	4	4	4	4	2	7	9	2	3	4	6	50	49	102%	

平成28年度 介護予防支援事業所利用状況表

平成29年3月31日

	全体件数(内新規)	事業所内件数	委託件数	委託事業所数・備考		
4月	327(13)	220	107	17事業所		
5月	334(12)	225	109	18事業所		
6月	331(7)	216	115	18事業所		
7月	334(14)	220	114	18事業所		
8月	330(2)	213	117	17事業所		
9月	334(12)	218	116	17事業所		
10月	334(12)	218	116	18事業所		
11月	332(13)	218	114	18事業所		
12月	333(13)	221	112	19事業所		
1月	329(4)	221	108	17事業所		
2月	332(10)	225	107	17事業所		
3月	332(10)	226	106	18事業所		
今年度計	3,982	2,641	1,341	月平均(全体)	月平均(東部)	月平均(委託)
				331.8	220.1	111.8
前年度計	3,808	2,754	1,054	317.3	229.5	87.8

年間新規件数 122件

10 介護付有料老人ホーム日野岐協苑事業（定員29人）

介護保険指定 岐阜県指定 第2190100186号

概要

季節感あふれる金華山と長良川の清流に囲まれた良好な環境にて、入居者様には安心と安らぎのある家庭的な暮らしが提供できるよう日常生活の支援を行いました。

利用者様の「終の棲家」として、また、家族が不安や後悔なく看取れる環境を整え医療関係者、介護、看護職員が連携し、さらなる看取りケアの質の向上に努めました。

地域貢献活動として、平成28年度は岐阜市社会福祉協議会から「地域交流助成事業」として助成金を受け、恒例行事の「秋祭り」の内容が拡充でき、よりいっそう地域住民との交流が深まりました。

事業運営の基本姿勢として、入居者様の意向を尊重し、安定的、継続的な事業運営を確保するため、選ばれる施設としてよりいっそう福祉サービスの向上に努めました。

1 平成28年度の重点目標について

- ①職員の人員不足の為、入浴介助等に大洞職員がヘルプとして入り、利用者様には迷惑かけることなくサービスが提供できました。3大イベント祭りや会議では、法人同士互いに協力し合い実施できました。
- ②資格取得のための勉強会を計画・実施し、介護支援専門員・介護福祉士各1名合格しました。また、初任者研修・実務者研修も4名終了しスキルアップを目指す取り組みが図れました。
- ③委員会や会議体制の内容を見直し明確化するも、余暇活動やリハビリを充実させることが出来なかったのが課題として残り、来年度の目標とする。
- ④目標達成率94%→年間合計95.4%で達成できました。要因として、入院者日数の減少と看取りケア実施により空床期間が減少しました。

2 介護サービス

施設サービス計画に基づき、入居者様の要介護状態の軽減又は悪化の防止及び、心身の状況に応じ適切な技術を持ってサービスの提供を行うことができました。

介護の基本を常に意識し、共感と傾聴を基本とし介護職員としての時代に応じたスキルアップと質の向上を図りました。

入浴は、週2回以上の入浴を提供しました。個々の身体状況に合わせた浴槽で入浴していただき、状況に応じた入浴支援を提供しました。

排泄の自立についての誘導、排泄訓練など必要な援助を行いました。

おむつの使用者には、形態別おむつ使用、随時交換など適切な介助を行いました。

自立支援に向けた取り組みとして、おむつから布パンツに変更し成功した事例が一件成功例として取り組めました。

口腔ケア、離床、着替え、整容等の介護を適切に行いました。

入居者の身の周りの整理整頓に努め、室内の換気、温度調整に注意を払い、落ちついた環境空間を提供しました。

衣類は清潔に心掛け、洗濯は適切に行いました。

3 機能訓練

入居者様が、毎日楽しく、笑顔でいられるよう、個別機能訓練計画書を作成し、実施した。また、3ヶ月ごとに計画を見直し、医師、機能訓練指導員、看護職員等との連携を密にして機能訓練を実施しました。下肢筋力向上と口腔機能の改善を目標に、毎日の健康体操として朝のラジオ体操や毎食前の嚥下体操を各階にて行いました。

4 食事サービス

利用者満足度アップのため、嗜好調査を実施しニーズの把握とリスクの改善、職員の意識向上を図るとともに衛生面の徹底・技術の向上を図り厨房内の管理体制を確立し、安心・安全な食生活を提供しました。

摂取状況を観察し、介護職員、栄養士、看護職員との連携を図り適切な食事を

提供し、摂取困難な入居者様に対しては、食事形態を変更しハーフ食や高カロリー食を提供し、無理の無い食事摂取が行えました。

朝食は、選択方式（ご飯かパン）（温かい牛乳、冷たい牛乳、ヤクルト）にて週1回実施し、昼食は月2回選択できる食事を提供した。

イベント食や四季それぞれの行事等に合わせて特別な食事を提供しました。

<イベント食・行事食実施状況>

4月	お花見弁当（桜ご飯・刺身の盛り合わせ）	11月	秋の味覚弁当（松茸）
5月	端午の節句（朴葉寿司）	12月	クリスマスランチ
6月	ステーキランチ		餅つき大会

7月	鰻の蒲焼デモクック・七夕ランチ	1月	握り寿司デモクック
8月	流しそうめん	2月	節分恵方巻き・バレンタイン
9月	敬老御膳	3月	ひな祭り（春ちらし）
10月	秋祭り		鮎鱈鍋

・ 行事食の際、イラスト入りのカードや折り紙等で装飾し季節感を演出。

どれも皆様には好評でした。特に鮎鱈鍋は普段食せ無い高価な料理で魚の身もたくさんあり、最後の締めは雑炊で全て完食でした。

5 健康管理

入居者様の多様な疾患の実態を把握し、介護職員等と協働し健康の保持増進を図るとともに疾病の予防、異常の早期発見と日常の健康状態の把握に努め、常に嘱託医その他かかりつけ医、家族等との連携を図るほか、必要に応じ専門の医療機関の診察を受け、健康管理に万全を期しました。

家族の面会時には必ず顔をあわせ、利用者の病状等医療面、リハビリ面について報告、相談を行いました。

(1) ターミナルケアの実施

住み慣れた場所でなじみのある人たちと一緒に過ごしたいという利用者や家族の思いから、看取りケアを実施して2年目を迎えました。28年度は3名の方を苑で看取らせていただき、看取り期は個別対応を特に重視し対応しました。

適宜、看取りに関する指針を見直し、PDCAサイクルにより看取り介護を実施する体制を強化しました。

(2) 在宅療養支援診療所の診察

内 科 月2回 状態に応じて往診あり。

(3) 健康診断 年1回

同意を得て平成28年7月に実施（内容：胸部X線検査、尿検査、血液検査）

体重測定 隔月

(4) 感染予防対策

平成28年11月に2回に分け利用者全員にインフルエンザ予防接種を実施。

1月9日にインフルエンザA型が集団発生し4階入居者11名、職員4名が感染。

全職員に緊急事態宣言し、全館消毒・加湿・クレベリンを設置。当苑の主治医に19名の職員が受診し、インフルエンザ予防薬を処方し服用。その後終息しました。

岐阜市保健所にはその都度報告をいれました。

(5) 救急時対応

状況により主治医・協力医療機関と連携をとり救急治療及び緊急入院が受けられるよう協力することができた。また、身元引受人、家族等への連絡を速やかに行い状況報告しました。本年度は2名AEDを使用し救急対応しました。

(6) 職員の健康管理

- | | | | | | |
|----------|---|--------|-----|--------|-----|
| ① 定期健康診断 | 年 | 夜間勤務職員 | 2回、 | その他の職員 | 1回 |
| ② 定期検便 | 年 | 直接処遇職員 | 2回、 | その他の職員 | 1回、 |
| | | 栄養士 | 毎月 | | |

6 余暇支援・地域交流

- (1) 入居者の多様なニーズに合わせた個別の活動（外出支援、学習、趣味活動等）行事参加、サークル活動、創作活動を支援しました。また、フロア個別の余暇活動も計画的に実施し、これらの作品は日野フェスタに出展して利用者様も毎年参加されることを楽しみとされています。
- (2) 今年も秋祭りを開催し、利用者・家族及び地域の方々に協力、参加いただき盛大に行うことができました。催し物では地域のキッズフラダンスが来て頂きました。
- (3) 日野小学5年生が利用者様とのふれあい福祉体験学習として来苑。介護講座やふれあい体験、自分たちが種から育てたパンジーを寄贈していただきました。
- (4) 長森東中学生2名を福祉体験学習として受け入れ、軽作業や利用者とのふれあい、行事（流しそうめん・秋祭り等）での手伝いやリフター・車椅子等の福祉用具体験も取り入れ、よりいっそう介護現場を理解してもらえることができました。

7 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図り、入居者様の希望等を聴取するため次の会議を開催することができました。

- (1) 職員会議 月 1回
- (2) CS向上委員会 月 1回（有料・ショート隔月開催）

顧客満足度向上のため、苦情の事案検討、アンケート等を毎月実施・集計し改善を図りました。「クレームの透明化」「即行動」に取り組むことができました。

- (3) 行事委員会 月 1回

- (4) リーダー会議 月 1回
事業所責任者会議の議題等を持ち帰り情報共有、話し合うことができた。また、各役職・リーダー等に役割分担の明確化、自ら考え行動できるよう意識を高めました。
- (5) 給食委員会 月 1回
- (6) 事故検討委員会 年 3回（職員会議内で開催）
事故報告書にあがった事例を分析し、法人全体の苑内研修にて話し合いました。
- (7) 運営推進会議 年 6回
偶数月に実施。地域の有識者や包括、市、家族、利用者との意見交換ができ、交流がより深まった。
- (8) 入苑者懇談会 年 4回
参加者も年々増え、活発な意見交換ができた。外出や食事に関する希望もあり計画的に取り組むことができました。
- (9) 看取り委員会 年 3回（職員会議内にて開催）
看取り介護内容の検証等、より入居者様に寄り添う介護が行えました。
振り返りアンケートから苑内研修も実施。
- (10) 防災会議 年 2回
- (11) 感染委員会 年 3回（職員会議内にて開催）
手洗い・うがいポスターを各フロアーに掲示し職員に意識付けしました。
10月から岐阜県感染情報を2w/1回に更新し掲示。
ノロウイルス感染対策では感染グッズの場所、取り扱いを研修。
- (12) ケアカンファレンス 随時開催
利用者を交えてのカンファレンスを随時実施しました。
- (13) 排泄委員会 年 3回（職員会議内にて開催）
自立支援に向け取り組みとして、有料ホームオムツ使用者30%を目標とし達成。対象者を決め段階的に計画し実施。業者による排泄介助の勉強会も開催しました。
- (14) 安全衛生委員会 月 1回（本部にて）
- (15) 広報委員会 年 8回（本部にて）
「スタッフブログ」に最新の情報を随時発信しました。
- (16) 法人職員会議 月 1回

8 研修

職員の資質の向上を図るため、苑内研修及び苑外研修に積極的に参加しました。

- ① 苑内研修 新任研修、処遇研修、接遇研修、勉強会等を実施。
- ② 苑外研修 各機関が実施する研修会に参加し、研修報告を職員会議にて実施。
看取りに関する研修、育成セミナーに参加。
- ③ 介護職員等は、自主研修に努めることができました。
- ④ ターミナル研修 年 1回 看護師、介護士が参加し、学んできたことを職員会議にて発表し情報共有を図りました。

9 非常災害対策

入居者の安全を図るため、別に定める施設防災管理規程に従って、避難救出訓練を年2回実施しました。

10 建物施設管理

建物、施設等は、保守点検を定期的に行うほか、清潔な生活環境を整えるため清掃、消毒等を行うことができました。

11 ボランティア活動来苑者（順不同・敬称略）

団体・個人名	活動内容	回数
たんぽぽ	大正琴	月に1回
近藤 隆彦	絵手紙	月に1回
森 佳子	音楽療法 ※有料サービス¥5,000/月	月に1回
この指とまれ	傾聴ボランティア・花見ドライブ	月に1回・4月
お話の国	読み聞かせ、合唱	月に1回
体クラブ そよ風	健康体操	月に1回
こもれ陽の会	歌、フラダンス	年に4回
林様、他3名	アレンジフラワー	月に1回
日野日赤奉仕団	秋祭り・餅つき大会	10月、12月
響 三村様他2名	オカリナコンサート	年に4回
アクトス島店8名	キッズダンス	12月
あいパチ	パチンコ体験	7月

日野キッズクラブ	秋祭り・キッズフラダンス	10月
岐阜保護観察所 保護司	清掃	3月
長森中学生・東長良中	秋祭り	10月
照風流 瑞恵会	近代詩吟と剣舞	9月
日野小学校5年生	お花の寄贈、福祉体験学習	12月
長森幼稚園	ふれあい交流	12月
日野保育園	ふれあい交流	11月

12 平成28年度行事実施報告書

※入苑者懇談会、ミニレクは定期的に実施

日 時	行事名	内容及び参加者
4月2月	花みこし	地域行事で子供神輿が来苑。
4月8日	花見 四国山の森（サクラ）	雨のため2回とも中止
5月15日	清流マラソン見学 参加者 20名	苑近くの堤防からランナーを応援。日野町つくり協議会さんからのご協力もあり、大勢の方が応援参加できました。
5月19日	ミニドライブ 岐阜公園 参加者 3名	のんびりと新緑の風景を楽しみました。 茶店でお抹茶をゆったりといただきました。
7月 5日	ミニドライブ 鶺鴒ミュージアム 参加者 3名	鶺鴒ミュージアム見学と山下鶺鴒匠宅での鮎雑炊を優雅にいただきました。
7月 8日	七夕会	織姫と彦星の寸劇を男性職員が披露。大変盛り上がり楽しまれていました。
7月19日	あいぱちんこ	岐阜県遊技業共同組合によるイベント 昔ながらの打つ台もあり懐かしがられる。
7月26日	流しそうめん	近所の方からすいか（伝助）をいただき、流しそうめんとすいか割りをしました。

7月29日	鰻の蒲焼実演・カキ氷 イベント食	少食の方にも食に対して意欲的になった。 暑い日だったのでカキ氷は好評だった。
8月21日	納涼祭 大洞岐協苑	参加者のみ夕食を17:00に提供し、大洞岐協苑に18:00に到着。各出店での買い物や盆踊りを見て楽しみました。
9月17日	敬老会 2階食堂スペース	昼食は「敬老祝い膳」で喜んでいただきました。節目のお祝い（百寿、白寿、米寿）の表彰を行った後に、催し物として詩吟や剣舞を楽しみました。
9月23日	外食ツアー 参加者 3名	関マーゴへ買い物と外食をしました。
10月8日	秋祭り	各方面からの協力がありブースも増えてきた改めて地域との繋がり、本部との繋がりを強く感じた。
10月9日	日野地区運動会参加	自治会よりバリヤフリーの席を用意していただだけお茶も準備してくださり、綱引きやリレーを観戦することができました。
10月17日	ミニドライブ アクアトト 参加者 3名	アシカのショータイムまで見れて、皆さん拍手喝采し大喜びでした。
10月20日	運動会	勝負事は皆さん真剣になり大変盛り上がりました。
10月29日	長森中学校創立70周年感謝記念式典	式典、講演会に参加。
11月1日	日野保育園来苑	地域交流もできこれからも継続訪問を希望されました。
11月5日	日野フェスタ 日野小学校体育館	自作展示物や催し物を見て楽しめる
11月17日	紅葉見学	イチョウ並木通りを散策。

	冬ソナストリート 参加者 2名	
12月2日	日野小学校5年生来苑	ふれあい交流と福祉体験学習
12月12日	長森第二幼稚園来苑 参加者 30名	年中、年長さん達と一緒に歌いながらスキンシップをとり、利用者様から笑顔がこぼれる。
12月15日	餅つき大会、カラオケ 2階食堂	利用者による餅つきを職員が手伝いながらつきあげました。あんこ、黄な粉、おろしの3種類を提供した。
12月18日	キッズダンス	はじめての来苑で子供たちも少し緊張気味 脳トレ手遊びを一緒に楽しみました。
12月23日 19:00～ 20:00	クリスマス忘年会 2階食堂	今年も盛大に行うことができ、長谷部次長と花瀬ナースによるギター、サックスの音楽に最後は皆さん聞きほれていました。
1月27日	握り寿司実演会	職人の手さばきにみなさん釘付けでした。 常食以外の方には散らし寿司を提供。
2月3日	節分祭	節分の由来や関連話、最後には仮装した「鬼」を豆（袋入り）でやっつけて追い払いました。
3月31日	買い物ツアー	バローで買い物

介護付有料老人ホーム入苑者状況表

平成29年3月31日 現在

1. 定員 29 名 現入居者 26 名 (入院) 0 名

2. 性別 男性 4 名 女性 22 名

3. 年齢別

	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100～ 104	計
男性	0	1	0	0	1	2	0	0	4
女性	0	1	1	2	7	8	2	1	22
計	0	2	1	2	8	10	23	1	26

4. 平均年齢 全体 85.7 歳 (前回 88.7 歳)

男性 84.5 歳 (最小年齢 70 歳 最高年齢 98 歳)

女性 88.7 歳 (最小年齢 71 歳 最高年齢 100 歳)

5. 要介護度

平均 3.57 (前回 3.5 前々回 3.7)

介護ランク	1	2	3	4	5	平均
男性	0	1	3	0	0	2.75
女性	0	6	5	5	7	3.72
計	0	7	8	5	7	3.57

6. 平成28年度 月別入退苑状況表

平成29年3月31日 現在

区分	入苑		退苑						現員		
			在宅ほか		長期入院		死亡				
月別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
H.27度末	0	6	0	0	0	1	0	4	7	22	29
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	7	22	29
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	7	22	29
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	7	22	29
7月	0	0	0	0	1	0	0	0	6	22	28
8月	0	1	0	0	0	0	0	1	6	22	28
9月	0	1	0	0	0	0	0	0	6	23	29
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	6	23	29
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	6	23	29
12月	0	0	0	0	0	0	0	1	6	22	28
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	6	22	28
2月	0	1	0	0	1	0	0	1	5	22	27
3月	0	2	0	0	0	0	1	2	4	22	26
計	0	5	0	0	2	0	1	5			
合計	5		0		2		6				

平成28年度 介護付有料老人ホーム 利用状況表

平成29年3月31日

月別	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	29	858	28.60	30	
5月	29	862	27.81	31	
6月	28	816	27.20	30	
7月	27	837	27.00	31	
8月	29	843	27.19	31	
9月	28	829	27.63	30	
10月	29	892	28.77	31	
11月	29	850	28.33	30	
12月	29	888	28.65	31	
1月	27	801	25.84	31	
2月	28	776	27.71	28	
3月	29	844	27.23	31	
合計	341	10,096	27.66	365	95.4%
前年実績(年間)	342	10,006	27.41	365	94.5%

1 1 日野岐協苑短期入所生活介護事業（定員20人）

介護保険指定 岐阜県指定 第2170105064号

概要

多様なニーズに対応するためご家族や関係事業所と連携を深め、ご利用者様の在宅生活の維持に貢献しました。

安全かつ快適に施設を利用していただくためにご利用者様本位の生活づくりを目指し、施設において日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、高齢者の心身の機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

また、地域との連携や医療的ニーズに応え、安心して在宅生活を送れるよう、ご利用者様一人ひとりに誠意をもって対応し、ご利用者様、ご家族様が満足できるサービスを提供し、温かく落ち着いたある、信頼される施設づくりを目指しました。

1 介護サービス

- ① 居宅サービス計画に基づき、利用者様の要介護状態の軽減又は悪化の防止及び利用者様の心身の状況に応じ適切なサービスを提供しました。
- ② 利用者様に対し、1週間に2回以上その状態に応じ適切な方法により入浴、清拭及び部分浴を実施しました。
- ③ 排泄の自立についての誘導、排泄訓練など必要な援助を行いました。
- ④ おむつの使用者には、形態別おむつ使用、随時交換など適切な介助を行い、自立の支援として、おむつを使用しない排泄の工夫をいたしました。
- ⑤ 口腔ケア、離床、着替え、整容等の介護を適切に行いました。
- ⑥ 利用者の身の周りの整理整頓に努め、室内の換気、温度調整に注意を払い、落ち着いた環境空間を提供しました。
- ⑦ 衣類は清潔に心掛け、洗濯は適切に行いました。
- ⑧ 心身の状況等を踏まえ、必要に応じて生活機能の改善又は維持のための機能訓練を実施しました。

2 食事サービス

- ① 摂取状況を観察し、栄養士、看護職員との連携を図り適切な食事の提供を図りました。食アレルギーがある利用者に対しても、業者と随時検討し別メニューを提供しました。

- ② 摂取困難な利用者様に対して、食事形態の変更し誤嚥リスクの軽減を図りました。
- ③ 朝食は、週1回程度、主食を選択方式で実施しました。
- (4) メリハリのある食事として行事食、イベント食を提供しました。

＜イベント食・行事食実施状況＞

4月	お花見弁当（桜ご飯・刺身の盛り合わせ）	11月	秋の味覚弁当（松茸）
5月	端午の節句（朴葉寿司）	12月	クリスマスランチ
6月	ステーキランチ		餅つき大会
7月	鰻の蒲焼デモクック・七夕ランチ	1月	握り寿司デモクック
8月	流しそうめん	2月	節分恵方巻き・バレンタイン
9月	敬老御膳	3月	ひな祭り（春ちらし）
10月	秋祭り		鮎鱈鍋

3 健康管理

利用者様の健康の保持増進を図るとともに疾病の予防、異常の早期発見と日常の健康状態の把握に努め、必要に応じケアマネージャー・主治医又は嘱託医との連携を図る等、健康管理に万全を期しました。

・感染予防対策

利用者様にはインフルエンザ予防接種の有無を把握できるようチェックリストを作成し、出来る限りの接種を勧めた。また、利用者の体調管理にも十分注意をはらい、体調不良の方には早めに主治医に相談、受診、居室対応し感染の拡大を防ぎました。1月にはインフルエンザA型の集団感染が発生し、ショートステイの利用縮小を2週間程やむなくしました。

4 生活相談

生活相談員をはじめ職員は、日常生活に関する事等の相談を随時おこないました。

5 送迎サービス

- ① 送迎の実施地域を岐阜市全域、羽島郡岐南町、関市西部地区、各務原西部地区等とし、それ以外の地域に関しても相談に応じて対応しました。
- ② 365日の送迎体制を確立し、利用者や家族の希望に添った送迎時間を可能

な限り行いました。

6 余暇支援サービス

年間を通して苑内の交流会等の行事やサークル等を実施した（利用期間中に行われる場合）また、興味関心がある活動や個別の余暇支援を提供しました。

- ① レクリエーションの充実を図り、各フロアと協力しつつ余暇時間をつくり、毎日計画的にレクリエーション活動を実施しました。
- ② 外出ツアーや個別の外出支援を計画し実施しました。

7 空床利用

利用ニーズに応える為に、併設の有料老人ホームの空床を利用しました。

8 会議等

事業運営の適正及び職員間の連携を図る為に併設の有料老人ホームと協働し委員会活動を実施しました。また、短期入所生活介護事業のサービスを向上させるためCS向上委員会やショートステイ会議を毎月開催しました。

9 その他

「日野岐協苑空室状況」を各居宅支援事業所・包括へ毎週ファックス送信。また、ホームページを活用し新規利用に繋がっています。

利用者の要介護状況（単位：人）

区 分	要支援		介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計	
	1	2							
4 月	男	0	0	1	4	2	1	1	9
	女	1	3	5	5	12	7	3	36
	計	1	3	6	9	14	8	4	45
10月	男	0	0	0	4	2	2	0	8
	女	1	3	4	7	10	7	3	35
	計	1	3	4	11	12	9	3	43

平成28年度 日野ショートステイ利用状況表

平成29年3月31日

月別	区部	利用者数	利用延人数	一日平均利用者数	実施日数	備考
4月	予防	4	14	0.47	30	
	介護	40	503	16.77		
	計	44	517	17.23		
5月	予防	4	17	0.55	31	
	介護	44	568	18.32		
	計	48	585	18.87		
6月	予防	4	42	1.40	30	
	介護	45	515	17.17		
	計	49	557	18.57		
7月	予防	5	45	1.45	31	
	介護	43	536	17.29		
	計	48	581	18.74		
8月	予防	5	37	1.19	31	
	介護	41	546	17.61		
	計	46	583	18.81		
9月	予防	4	24	0.80	30	
	介護	41	462	15.40		
	計	45	486	16.20		
10月	予防	4	29	0.94	31	
	介護	39	432	13.94		
	計	43	461	14.87		
11月	予防	4	30	1.00	30	
	介護	42	469	15.63		
	計	46	499	16.63		
12月	予防	4	30	0.97	31	
	介護	40	524	16.90		
	計	44	554	17.87		
1月	予防	3	11	0.35	31	
	介護	36	406	13.10		
	計	39	417	13.45		
2月	予防	2	5	0.18	28	
	介護	38	444	15.86		
	計	40	449	16.04		
3月	予防	2	7	0.23	31	
	介護	44	448	14.45		
	計	46	455	14.68		
合計	予防	45	291	0.80	365	84.2%
	介護	493	5,853	16.04		
	計	538	6,144	16.83		
前年実績 (年間)	予防	53	254	0.70	365	88.8%
	介護	473	5,558	15.23		
	計	526	5,812	15.92		